科目名	母性看護学方法論Ⅰ	対象学年・時期	２年　後期
講師	非常勤講師	単位数・時間数	１単位　30時間
講義概要	ディプロマポリシー３に基づく。 女性は妊娠・出産ができる唯一の性である。妊娠・分娩・産褥の一連の過程は母体にダイナミックな変化が起こり、母と子の命に関わる重要な時期である。また新生児期は胎内から胎外へ適応できるか否かの重要な時期である。この科目では妊娠・分娩・産褥の一連の経過と新生児の生理について正常な経過を学習し、対象理解のもと看護を展開するための基礎的知識と技術を身につける。		
講義形態	講義、演習		
学習目標	１．妊娠の成立と正常な妊娠経過とその看護を理解する。 ２．分娩の正常な経過とその看護を理解する。 ３．産褥の正常な経過とその看護を理解する。 ４．新生児の生理とその看護について理解する。 ５．新生児の看護に必要な技術を実施できる。		
学習内容 (授業計画)	１．正常な妊娠経過と看護 ２．正常な分娩経過と看護 ３．正常な産褥経過と看護 ４．新生児の生理と看護 胎児循環から肺循環へ 新生児のアセスメントと看護　※感染予防、事故防止についても含む ５．新生児のケア（演習） １）抱き上げ、抱っこ、置き方 ２）おむつ交換 ３）沐浴　※演習には母性領域担当教員も入る		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ　母性看護の実践 ナーシング・グラフィカ　母性看護技術		
事前学習・ 事後学習 (学習を促進できる学修)	解剖生理学や生物学、母性看護学概論、病気を診る演習で学習した女性生殖器や月経周期とホルモン、排卵・受精・着床・受精卵の細胞分裂等の知識を開講前に復習してください。		
評価基準と 評価方法	終講試験		
備考			